

みどうの杜俳句会

はねそうに蕾ふくらみ山の百合

秩父への山裾道や茗荷の子

福田より子

佐山けさ子

真昼間のぎぼしの花や蜂潜る

真夏日の隔離生活俳句あり

関口 侑子

吉田 愛子

夏椿山路に落下色褪する

山百合の蕾ふくらみ先尖る

野口利江子

木本 弘子

新盆や武甲嶺雲に隠れつつ

ペランダの初朝顔の青さかな

岩崎 真人

鈴木 啓子

一步出で炎天の峰仰ぎけり

ばった鳴き夜の空地の草の中

小林 一樹

田村 好子

山土手に株立ち萩のや枝下がる

夏山の雨強弱の一しきり

落合 七郎

馬場 芳

代掻きの終へたる田なり鴨泳ぐ

梅雨止まず山家の窓のうす暗し

初雁 功子

高橋 ツ子

草花の下に上にと蝶の舞ふ

雷雲の山空おひ暗くなる

岡部富美子

山崎 才子

黒雲の峰をかすめて稲光り

山百合や花卉の先の巻き上がる

土屋 厚子

梅沢きくえ

一弁つつ反り夏柑の咲き揃ふ

つばに活け山百合の蕊濃く太し

山田 美子

飯野はつ志

西瓜食べ前歯はじめてぐらつく子

山百合の蕾のすぢの真直ぐかな

大竹 祐也

西 ツル

氷菓食べ一人至福の風呂上り

ぬり絵塗りカレンダー作る夏の

谷内 真里

日々

夕顔の蔓の広がり実の双つ

今村千鶴子

小宮 勉

白石短歌会

捨てられて一つ残りしラーメンは

今日の日付よ心して飲む

渡邊美枝子

打ち寄する波の様なる蟬時雨

夕暮近き縁に座し聞く

坂本 美江

清やかな風にのり来る鶯の

声に励まされ一日の始まる

白石 礼子

ゲートボール憩う木陰に聞える

琴の音色か河鹿の声か

渡邊阿里子



人権シリーズ

『好きな色は何色ですか』

383

下の図を見てください。
みなさんの好きな色は何色ですか。

私は、青が好きです。隣にいらつしやる羽太先生は、オレンジ色が好きだと答えてくださいました。では私が、羽太先生に『オレンジはよくないです。先生の好きな色を私と同じ青に変えてください』と言ってよいでしょうか。

答えは明らかです。誰かの好きな色を否定してはいけないし、誰かに自分の好みを押しつけてもいけません。『あなたの選んだ色も素敵ね』とお互いが選んだ色を尊重できるとよいと思います。

これは、好きな色だけでなく、髪型や洋服、趣味や食べ物などについても同じです。野球もいいし、バスケットボールもいいし…。一人一人が決めたこと、一人一人の思いが大切なのだと思えます。

一人一人が自分の色で輝き、お互いを認め合うことができる楓川小をみんなで創っていききたいと思えます。

東秩父村立楓川小学校教頭 船田 真由美

